広報
さめがわ

昭和５９年
11月号
No. 371
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

鮫川工業団地に親会社の進出決まる



鮫川村が優良企業の導入を目ざして、赤坂西野見渡地内に造成した鮫川工業団地に、先に誘致が決定していた泰斗工業の親会社筋に当る株式会社亘製作所が進出することが決まり、10月９日福島県東京事務所で調印式が行われました。

この会社は昭和61年に３棟の工場を建設して操業に入る計画で、雇用人員は最終計画で従業員150名、管理事務職員３名を見込んでおり、精密プレス鈑金加工製品を生産します。

男子型工業で地域産業に活力を与え、若者の就労と定住に大きな役割を果たすものと、期待されています。

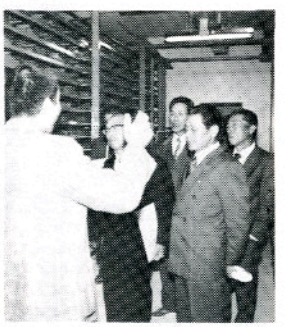
11月23日～25日　第37回文化祭（集中行事）
11月26日～12月２日　秋の全国火災予防運動
12月１日～25日　村税完納運動推進月間

今月の人口
（11月１日現在）

		前月比
人　口	5,560	（＋６）
男	2,746	（＋５）
女	2,814	（＋１）
世　帯	1,132	（　０）

村議会議員さん一行が先進稚蚕施設を視察

村が現在進めている農業構造改善事業に深い関心を持っておられる村議会議員さんの一行は、石川町に開催された町村議会議員研修会に出席された機会に、安達郡岩代町の小浜農協稚蚕飼育所と、田村郡三春町の沢石農協稚蚕飼育所を熱心に視察され、わが村の伝統的地場産業である養蚕業の近代化について研修されました。



村政の歩み (19)

豊穣の秋に学ぶもの

村長　石田卯子八

渡瀬村救荒修祭記によれば、天明三年（一七八三）卯年の大凶作から数年間は冷害による不作が続き、寛政元年（一七八九）酉の年に大豊作になったと記されています。

冷害凶作が二年続いたことは昭和に入ってからも幾度かありましたが、天明クラスの大凶作になれば五、六年も不作が続くことがあるものと思われます。

こんなことから、今年五月の苗代期は著しい低温で、五年続きの冷害は必至と考えられ、長期予報も夏は短く秋は早く来ると報じていたので、一方ならず心配させられました。

しかし六月に入ってからは、俄かに高温に転じ、下旬に一時低下したものの、七月の伸長、幼穂形成期は引続いての高温で経過し、八月の出穂開花、登熟初期は異常ともいえる高温で、今年の豊作を決定づけました。

また期間中に台風、豪雨、洪水などの被害がなかったことも低いのと、水不足被害の少い地域なので、比率は更に高くなることが予想され、よろこびにたえません。

このことは、昭和五五年以降四年間続いた不作の経験から、農家の皆さんの安定稲作志向の努力が実ったことが考えられ、今年の稲作に幸しました。

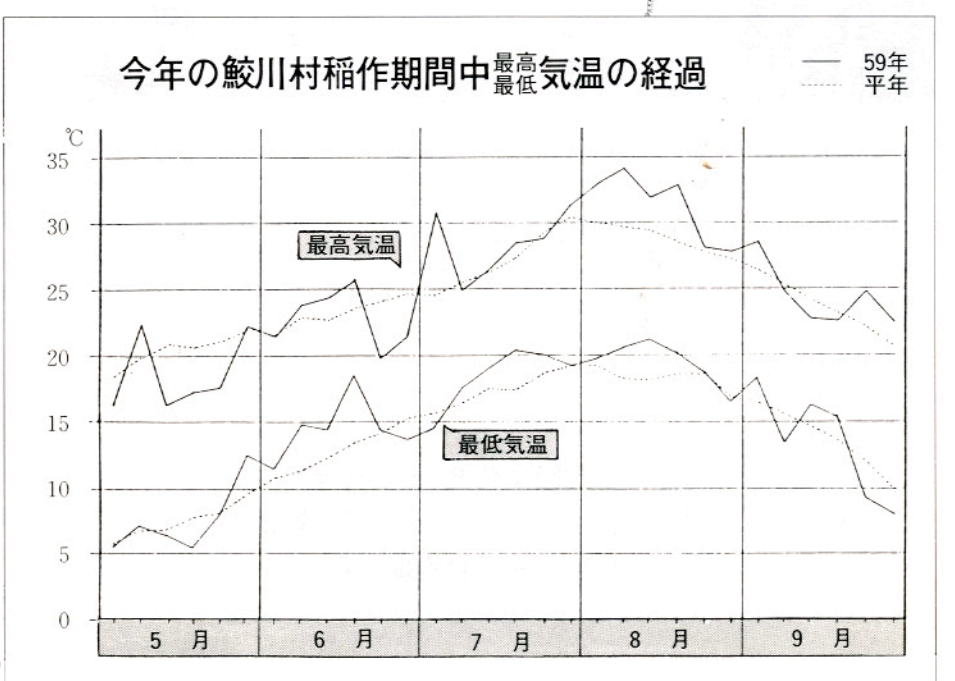
このため農林水産省の予想収穫量は全国の作況指数が一〇八の「良」で、一〇a当りの収量は五一五kg、史上最高の大豊作と発表されています。

本県は対平年比一〇九で、反収五三八kgであるから全国を上廻り、またわが村は平年反収が心から敬意を表しますとともに、最大の要因となった生育成熟期間中の天候条件の偉大な力に感を深くするものであります。

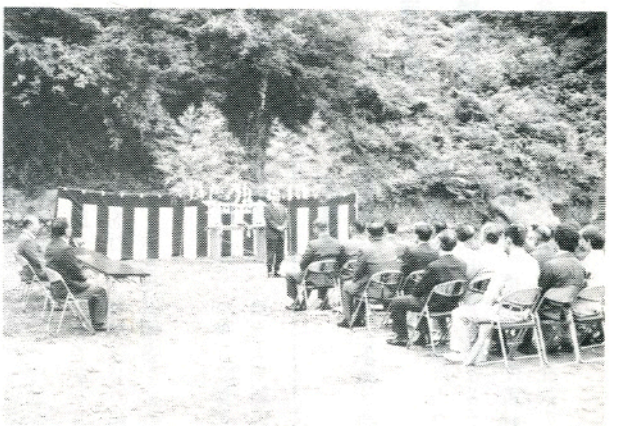
その反面、豊作も凶作も天候の支配と影響による度合いの高い現在の栽培技術水準の現状認識が重要であり、天候の恵みによる豊作に甘んずることなく、これからの研讃と努力が求められます。

米は何といってもわが国民の主要食料であり、わが村にとては最大の農産物であります。

豊、凶は毎年くりかえされるわけでありますから、徹底した技術対策と絶えざる努力こそ忘れてならない指針といえましょう。



農業の総合的拠点づくり 技術指導センター起工す



▲文化センター跡地で行われた起工式

村の農業の総合的な技術指導の拠点となる農業技術指導センターの建設が、今年の新農構事業の一環として実施されることになり、一〇月四日現地の文化センター跡地で起工式が行われました。

この建物は鉄筋構造二階建五〇四㎡の面積で、指導管理室、無線室、人工受精冷凍、医療薬品室、研修室、展示コーナー等が計画されています。

本体工事は五、四五〇万円で村越建設が請負い、電気設備や機械等は分離発注されました。

年度内完成を目ざして工事が進められています。

救急病人の輸送実験

自衛隊のヘリコプターで

医療機関に遠い山間地域に発生した救急病人をヘリコプターで、施設の整った基幹病院に輸送する実験が行われることになりました。

これは山村振興連盟などの要請に基づいて国土庁が本年度事業で、全国で一県を指定して行うものです。

福島県はこの指定をうけて、実験事業推進会議をつくり、事業の遂行を進めています。

来る一一月二〇日の午後にはわが村でこの実験が行われる予定になっているのでご協力ください。

実験は渡瀬地内に救急病人が出たとの想定で、診療所、役場を経て、県消防防災課に通報され、県から自衛隊のヘリコプター派遣が要請されます。

自衛隊のヘリ派遣が決定されると、ヘリは太田綜合病院の医師と看護婦を乗せて、鮫川村のヘリポートに予定されている鮫川中学校の校庭に着陸し、広域消防の救急車で運ばれてきた病人を収容して、郡山市の太田綜合病院に輸送する―というコースで実施されます。

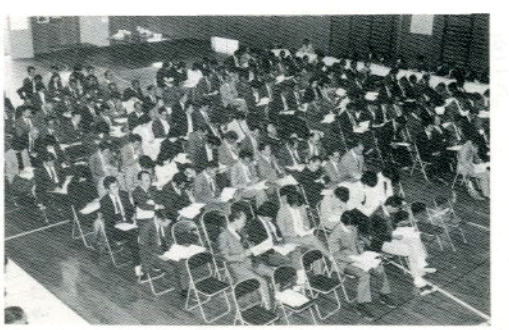
交通死亡事故多発 非常事態宣言を採択

僅か六か月の間に二名の死亡事故を出した鮫川村では、交通対策協議会、交通安全協会分会、交通安全母の会の三者共催で交通死亡事故多発緊急対策会議を一〇月二三日山村開発センターに関係者一五〇名の参会を得て開催しました。



棚倉警察署長、交通安全協会東白川支部長も出席され、緊張した雰囲気の中で交通事故多発非常事態宣言が採択され、緊急に実施すべき事故防止対策が熱心に検討協議され、早速実行を推進することになりました。

へき地小規模学校の教育研究大会開かれる



福島県へき地小規模学校教育研究会等の主催による全県単位の研究大会が、一〇月二四日に鮫川小学校、富田小学校、鮫川中学校を会場として開催されました。

この日は会津や浜通りなど遠いところから熱心な先生方やPTA役員などが多数来村され、当番校の授業や研究発表を中心に真剣な討議が行われ、大きな成果をあげました。

無火災誓いキビキビと
恒例の消防団秋季検閲



▲元気な号令が全会場を圧し、参観者を感動させた

村が定めた消防の日の一〇月三日、村民グランドにおいて消防団の秋季検閲が来賓多数の見守る中で、団員三一七名が参加して行われました。

検閲に先立ち、診療所入口から村民グランドまで堂々の村内行進を行い、整然とした組織の強さが示され信頼感を高めました。

検閲はラッパ隊の吹奏で国旗が掲揚され、無火災祈願の黙とうをささげ、松崎団長、検閲官石田村長のあいさつ、来賓の祝辞に続き、各分団毎に通常点検、規律訓練が行われ、厳正な規律、旺盛な士気の高揚が見られました。

このあと、消防操法模範演技が披露され、閲団、検閲官の講評があり、終って各分団による水勢競技が行われ、消防意識の高揚と技術の練磨に大きな成果をあげました。

鮫川幼稚園児 白河体育館でみごとな演技
―幼年消防白河地方大会―

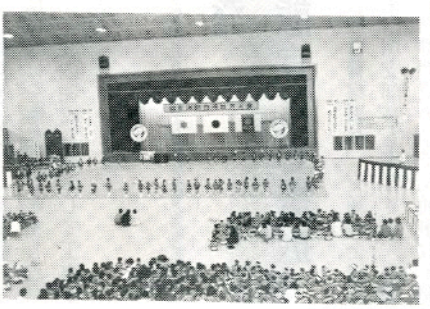
幼稚園児などの幼児を対象にする幼年消防白河地方大会が、去る一〇月一九日白河市の県営白河体育館でにぎやかに開催されました。

白河地方広域市町村圏消防本部やロータリークラブなどが共催したもので、大会には管内一七クラブ一、〇二四名の幼児が参加しました。

東白管内からは鮫川幼稚園幼年消防クラブの園児九二名が参加し、チビッコ防火祭りの中でみごとなダンスの演技を披露しました。

幼年消防クラブは、子供たちに正しい火の取り扱い方を教え火災原因の上位を占める「子供の火遊び」による火災を防ぎ、さらに防火教育を通じて自主協調の精神に根ざした人間性を培うことを目的に結成されています。

現在白河管内で三一団体、二、五八六名が加入して活動しています。



▶元気一杯みごとなダンスで会場を湧かせた幼稚園児

はがきで――消火器を当てよう
火災予防運動標語クイズ

昭和五九年秋季全国火災予防運動の標語は何でしょう。

【応募要領】

◇**主催**　福島県・福島県消防協会

◇**応募の方法**　官製はがきに昭和五九年秋季全国火災予防運動の統一標語と郵便番号、住所、氏名、職業を記入のうえ応募してください。

◇**あて先**　〒九六〇　福島市中町五の二一　福島県消防協会火災予防懸賞係あて

◇**しめきり**　昭和五九年一二月三日

◇**賞品**　家庭用消火器（一〇〇本）、正答者多数の場合は抽選で当選者が決まります。

秋の全国火災予防運動
11月26日～12月2日

火災が起こりやすい時季になりました。皆さん一人ひとりが火の元の点検を行い、火災の発生を未然に防ぎましょう。

家庭内で実施したいチェックポイント

○風呂、かまどの焚口、煙突は常に清掃点検を行うこと。

○石油ストーブやコンロはコタツ内に使用しないこと。

○ストーブ、石油風呂釜に給油するときは、火を完全に消してから給油すること。

○電気器具、ガス湯沸器等の取扱いに充分注意すること。

○タバコの投げすて、寝タバコは絶対にしないこと。

○子供が火に興味を示したら、火の正しい取扱い方と、火の恐しさをよく教えること。

○焚火をする時は消防署へ届出ること。

《火事と救急は一一九番

棚倉消防署鮫川分署》

第37回 文化祭行事案内

第三七回鮫川村文化祭は、次の日程で開催されます。

今年も楽しい催しがたくさん予定されていますので、多数の皆様の御出陳、御観覧をお待ちしています。

なお、一般観覧時間は、二三日、二四日が午前八時三〇分から午後四時三〇分まで。二五日は午前八時三〇分から午後一時までとなっています。





ご家族おそろいで お出かけください

山村開発センター

幼・小・中学校 児童生徒学習発表会
11月21日 9：00～12：00

ふる里文化芸能 歌と踊りの発表会
11月23日 10：00～14：00

青年文化発表会
11月23日 14：00～18：00

お茶会
11月25日 9：00～15：00

お母さんお嫁さんに感謝する会
- ●優良健康赤ちゃん表彰
- ●アトラクション 中川里美歌謡ショー

11月25日 10：00～12：30

勤労感謝の夕べ
- ●中川里美歌謡ショー

11月25日 18：30～20：30

アマチュア写真展
〈11月27～30日〉

花嫁衣裳展
〈11月23～25日〉

歴史民俗資料館

写真でみる新鮫川30景
〈11月23～25日〉

農業者トレーニングセンター

〈11月24日〉
- ●婦人会バザー

〈11月23～25日〉
- ●華道展
- ●書道展
- ●俳画展
- ●版画展
- ●似顔絵コンクール作品展
- ●逓信館
- ●NHKコーナー
- ●小・中学校・東白農商鮫川分校児童生徒作品展
- ●農業生活改良推進員コーナー
- ●老人作品展
- ●村政写真展

鮫川幼稚園

〈11月23～25日〉
- ●幼児作品展

商工会館

〈11月24～25日〉
- ●村内工場製品展
- ●ふれあい広場

冬に向って…トレセン・プールもお休み

オープン期間中の利用者は一万二千人

農業者トレーニングセンタープールは一〇月一八日までで使用を中止しました。オープン期間中の利用者は一二、〇九〇人と大盛況でした。

このプールは、村民の皆さんに水に親しむ機会を提供し、憩いの場、健康・体力づくりの場として新農業構造改善事業で総事業費約七千万円をかけて建設したものです。

プールにはビニールの上屋がつき、夜間の利用もできることから、スポーツ愛好者はもとより一般村民の方の利用で連日連夜のにぎわいを呈しました。

利用状況（別表）を月別に見ると、今年は例年にない酷暑であったためもあり八月が最高で五、四九〇人が利用しました。なお七月が三、四九〇人、六月一、三五八人、九月一、三三六人、五月三四〇人、一〇月七六人となっており、村外の利用者も九〇人ありました。

昼夜間別では、昼間利用者が九、六七八人、夜間利用者二、四一二人となっています。

来年も五月初めからオープンする予定ですので健康・体力づくりに一層ご利用ください。

プール使用状況

（単位：人）

区分		幼児	小中学生	高校生	一般	計
昼間使用者	5月	13	306	10	11	340
	6月	378	836 (3)	57	87 (7)	1,358 (10)
	7月	934	1,289 (2)	94 (1)	382 (6)	2,699 (9)
	8月	1,312	1,824 (11)	121	815 (16)	4,072 (27)
	9月	807	204 (14)	8 (1)	114 (16)	1,133 (31)
	10月	48	17 (8)		11 (4)	76 (12)
	小計	3,492	4,476 (38)	290 (2)	1,420 (49)	9,678 (89)
夜間使用者	7月	104	370	24	2 293	791
	8月	229	621	74	494 (1)	1,418 (1)
	9月	32	95	7	69	203
	小計	365	1,086	105	856 (1)	2,412 (1)
合計		3,857	5,562 (38)	395 (2)	2,276 (50)	12,090 (90)

※（ ）は村外使用者で内数

行政区だより

青少年健全育成地区推進協議会
五行政区で設立

青少年健全育成村民総参加運動を推進するため、このほど五行政区に「青少年健全育成地区推進協議会」が設立されました。

協議会が設立された行政区は次のとおり。

▽西山区（8月4日設立）▽中野区（10月14日）▽東石区（10月20日）▽富田区（10月25日）▽青生野区（10月29日）

◇

赤坂西野

▽区体協の球おさめ大会が一〇月二八日ソフトが区運動広場、バレーが西野小体育館を会場に行われました。ソフト、バレーとも七チームが出場し、熱戦の結果ソフト、バレーとも諏訪チームが優勝しました。

渡瀬

▽渡瀬区の組長さんで結成されている組長会の研修が、一〇月二八日に行われました。今年は秋の藝術をと県立美術館と図書館を見学して来ました。五〇億ともいわれる雄大な建物と東北出身の現代芸術家の作品を鑑賞してきました。

大物イノシシを捕殺
なんと体重一一〇キロ

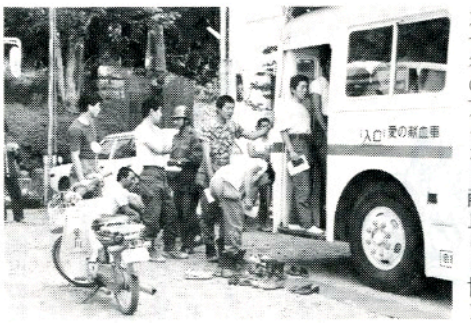


最近青生野地区にイノシシが出没して農作物に被害を与えていたが、去る一〇月三〇日村の有害鳥獣駆除隊（船木正衛隊長）によって捕殺されました。

六時間余りの捕獲作戦の末に捕えられたイノシシは、体重が一一〇キログラムもあるオスで、長年駆除を行ってきた隊員もこれほどのものは初めてという超大物でした。

村の有害鳥獣駆除隊は、有害鳥獣による農林産物の被害防止のため、村内の狩猟歴五年以上の狩猟者によって組織されています。村の補助金を受け、狩猟期間を除く四月から一〇月にかけて計画的に駆除活動を行ない着実な実績をあげております。

献血ありがとう



一〇月二五日村内巡回採血で、九七名の方々から献血にご協力いただきました。ありがとうございました。

献血にご協力いただいた方々は次のとおりです。（敬称略）

【西野生活改善センター】5人
▽大竹喜一▽水野リツ子▽石井優子▽矢吹美恵子▽斉藤克子

【西山集落センター】2人
▽大竹かつ江▽須藤ヨシ子

【役場前】77人
▽鈴木昭寿▽緑川ひろみ▽鷺野谷真子▽佐藤一二▽青戸義之▽鷺野谷弘行▽大平啓子▽根本良子▽吉田節子▽金沢幸子▽菊地勝▽高木正則▽斉藤ミヨ▽鈴木ツヤ子▽我妻久子▽高木フミエ▽穂積光位▽樋口和典▽遠藤裕美▽瓶子仁▽馬場尚▽水野健司▽仮橋源良▽白坂邦次▽斉須寛一▽金沢満▽北條利雄▽板谷年城▽増谷隆夫▽藤田洋美▽斉藤実▽須藤健▽佐藤博▽芳賀栄郎▽関根武捷▽高坂修一▽芳賀義美▽新妻義美▽芳賀亨▽鈴木令子▽鈴木智子▽遠藤サト子▽須藤カヨ▽須藤幸子▽吉田文子▽田子澄江▽自衛隊員三一人

【鮫川器機前】12人
▽津田彰夫▽大森茂▽大森嘉幸▽藤田則雄▽工藤敏広▽石井重幸▽渡辺浩佳▽大森敏雄▽河野まゆみ▽松本セツ▽河野キチ▽山形富士子

文芸

俳句

横座矢吹茂
左右より稲穂が垂れて畦一筋

反田小山田清哲
朝霧の流るる中に栗拾う

新宿斉須信子
幼な子の手に握られし青みかん

道少田山本五十鈴
栗落ちし音たしかめに立つ厨

上高坂尹
今生の菊ゆるがして打つ棺

道少田山本朗史
秋祭りにぎわっていてやせる村

短歌

新宿杉山忠男
吾が歌集贈れば教へ子六十の手習ひと告げ数首寄せ来る

関口藤田マサ
大根の畑の草引く上空を恋し合ふ蝶もつれ翔びをり

広畑岡部ヒサ子
甘茶蔓金欠病にも効かぬかと冗談言いつつ朝夕に呑む

遠ケ竜須藤幸子
朝霜に萎之し葉かげにからしの実赤々として艶を保てり

巡ケ作鈴木米子
コスモスの前に幼ら並ばせて気嫌とりつつシャッターをきる

棚橋関根一好
さゝやかな店にも行革及びきて吾が資金繰り月々きびし

名下須藤美代子
太鼓打つ激しき人の影ゆれて豊年祭の踊りたけなわ

こんにちは
保健婦です

離乳食の増やし方

今月は、離乳食の増やし方について記述します。

赤ちゃんの食事は、大人のようにたくさんは食べられません。ほんの少しのようですが、赤ちゃんの胃も小さいのですから心配ありません。

ふやし方は別表の通りですが、つぶし野菜は、いくつもの種類をまぜて与えるのではなく、その野菜を味わってもらうために一種類ずつ与えます。慣れてきたら、混合でもよいでしょう。

一日一回の食事が十分になったら、一日二回になります。午前一回は今まで通りに与え、午後には、始めと同じようにして増やしていきます。一日三回になれば、朝、昼に十分与え、夜には、初めと同じようにして増やしていきます。個人差もありますので、赤ちゃんの機嫌、便の性状等、赤ちゃんの様子を観察しながら増やしましょう。

スケジュールの1例

- 午前6時　お乳180cc.
- 午前10時　離乳食＋お乳（飲むだけ）
- 正　午　果汁30～50cc.
- 午後2時　お乳180cc.
- 午後6時　お乳180cc.
- 午後10時　お乳180cc.

	第1～2日	第3～4日	第5～7日	第8～10日	第11～12日	第13～14日	第15～16日	第17～20日	第21～30日
おかゆ	1さじ	2さじ	3さじ	3さじ	3さじ	3さじ	4さじ	7さじ	子供茶わん1/3～1/2杯
卵黄			1/2さじ	1/2さじ	1/2さじ	1さじ	1さじ	1さじ	半個分
つぶし野菜（1種類）						1さじ	2さじ	2さじ	3さじ

保険だより 国

退職被保険者等の該当者は届出を!!

一〇月一日からスタートした退職者医療制度は、次の要件を充たす方が対象となりますので、該当する場合は届出を行ってください。

①国民健康保険の加入者。

②老人保健医療の適用を受けていない人。

③厚生年金や共済組合などの被用者年金制度の被保険者等の期間が原則として二〇年以上であるか、または、被用者年金制度に四〇歳以後に一〇年以上加入して、通算老齢（退職）年金の支給を受けられる人。

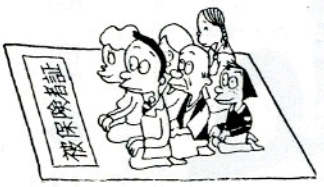
◆資格の発生と届出

退職被保険者となる日は、年金受給権の発生した日となりますから、年金証書等を受領後一四日以内に証書持参のうえ届出てください。

保険証は金券と同じです

最近、保険証の紛失が目立っています。保険証は、国保の被保険者である証明書であり、その加入者にとってはその権利を保障し数十万円、数百万円の医療費の給付が行われる大切な証書です。紛失をして、他人に不正に使用されることのないよう注意が必要です。

保険証は、家庭で置き場所を決めて、使った後は必ずそこへ置くようにして紛失しないようご注意ください。



乳幼児と妊産婦の医療は無料です

国保加入者で、乳幼児（三才になる日の月まで）がお医者さんにかかったとき、自己負担金の支払いはいりません。保険証を提示して受診してください。国保で一〇割負担します。

妊産婦の場合は妊娠五か月の月から出産の月までが一〇割給付の対象となりますが「妊産婦医療費受給資格者証」が必要となりなす。該当者は必ず当該受給資格者証の申請をして交付を受け、保険証と一緒に病院等窓口に提示のうえ診療を受けてください。

※妊娠届による母子手帳の交付と一緒に、早めに申請するのがよいでしょう。

医療費のお知らせについて

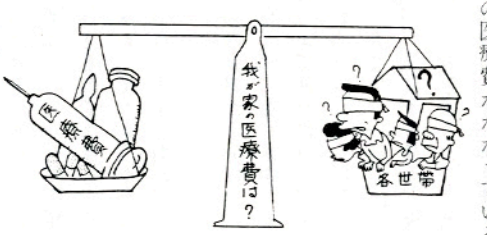
国保の被保険者の皆様には年三回医療費のお知らせ（一年間のもの一回、単月のもの二回）を実施しています。これはどのくらいの医療費がかかっているのか被保険者の方に知っていただくため、世帯単位（老人保健医療対象者は受給者ごと）に通知しているものです。決して受診の抑制ではありません。

自分の健康管理を考えましょう

国保は、国保加入者の国保税と、国庫負担金等によって賄われています。医療費が伸びれば、皆様の負担も増えることになります。日頃から健康管理に気をくばり、早期発見、早期治療に心がけてください。

◎国民健康保険に関する問い合せ、各種申請等は住民課（保健係）へどうぞ。

あなたの医療費はどれ位かご存知ですか？



社保本人定率の一割負担
鮫川村国保診療所

健康保険法の一部改正により、各種社会保険（国保及び老人保健医療該当者を除く）の被保険者本人は一〇月一日から医療費の一割を負担することになりました。

ただし県知事に届けた医療機関では二、五〇〇円以下の医療費の場合は一〇〇円～三〇〇円の定額自己負担をすることになりますが、鮫川村国保診療所では、二、五〇〇円以下でも定率の一割負担をしていただきますのでお知らせいたします。

加入保険に変更があったら届出を!!
—老人保健該当者—

七〇歳以上の方、または六五歳以上で身体障害で認定を受けている方は老人保健法による医療が適用され、健康保険証と健康手帳を病院等窓口に提示して、診療を受けることになります。

それで、現在加入されている健康保険証で次のような内容が変わったら、住民課保健係へ届出てください。

健康保険証の

- 記号番号
- 被保険者の氏名・住所
- 保険者

（国民健康保険↔社会保険）

農委だより

水田転作現地確認終る

今年の達成率は一一〇%

第三期水田利用再編対策事業による水田転作現地確認は、去る九月二七日に終了し、その結果は、転作目標面積九七ヘクタールの配分に対し、一〇七ヘクタール余が実施され一一〇%の達成率となりました。

なお、今年から導入された他用途利用米分の作付面積は、二ヘクタールで、転作面積の二%にあたります。

大字別の達成率は次のとおり。

大字	目標面積	実施面積	他用途利用米	合計	達成率
	a	a	a	a	%
赤坂西野	1,573	1,641.72	20.95	1,662.67	105.70
西山	1,772	1,809.22	78.08	1,887.30	106.50
赤坂中野	993	1,085.19	12.09	1,097.28	110.50
赤坂東野・石井草	1,943	2,254.94	37.83	2,292.77	118.00
富田	864	952.12	7.25	959.37	111.03
渡瀬	1,415	1,634.14	20.14	1,654.28	116.91
青生野	1,140	1,183.95	27.41	1,211.36	106.25
計	9,700	10,561.28	203.75	10,765.03	110.97

農業者年金経営移譲年金
受給対象者の説明会開く

一〇月二九日、山村開発センターにおいて、大正一五年生まれの方で、二年後の昭和六一年一月から十二月までの間に農業者年金経営移譲年金の裁定請求をされる方を対象に、説明会が開催されました。

初めに村農業者年金協議会遠藤慎一郎会長のあいさつがあり、続いて農協、農業委員会の担当者から農業者年金のあらましと年金受給手続について詳細に説明がありました。

経営移譲年金を受給するには、その該当者が受給年の一年前までに受給資格要件を満していなければなりません。それは農地の相続、後継者等の諸事情をかかえている方があるので、これらの問題を事前に準備しておかなければならないので二年前に開催しているものです。

今回の受給対象者（二二名）は、農業者年金発足から一五年目にあたり、今まで納めた保険料は五六〇、〇四〇円で、今後一年間に七五八、六〇〇円の年金を六〇才から六四才までの五年間受給することになります。六五才からは、この一〇分の一の額と農業者老令年金が併せて支給されます。

農業者年金保険料

納付は便利で有利な
前納制度を利用ください

昭和六〇年の前納保険料の納付時期が近づいてきました。農業者年金保険料は、原則として一月、四月、七月と一〇月の各月末までに、前の三カ月分を納付することになっています。

前納制度は、この年四回に分けて納付する方法に代えて、毎年一二月三一日までに、翌年の一月から一二月までの一年間分を一括して割り引きした保険料で納付することができるので大変お得です。

前納制度は、年四回に分けて納めていた手間が一回で済むのでとても便利な制度です。また、現金で保険料を納付する人の場合には、納付書を紛失したり、うっかりして納め忘れたりすることがあると思います。

保険料を〝うっかりして納め忘れ〟ておりますと、納めるべき保険料が不足し、その結果、老後の生活安定の保障となる年金が受けられなくなったら大変なことになります。

前納制度を活用すれば〝納め忘れ〟の心配もなくなりますので前納制度をご利用ください。

詳しいことは、村農協・農業委員会におたずねください。

自立経営育成酪農部門

先進農家視察と体験発表会に参加してみませんか

県酪農青年研究連盟と県農業会議主催により、自立経営農家（酪農）の新らしい飼育技術、経営改善の合理性を見い出すと共に、同志の連帯感を深め酪農業の安定と地域農業振興を図ることを目的とした先進農家視察と体験発表会が開催されます。

希望の方はご参加してください。

- ●日時　昭和五九年一一月二六日（月）
- ●場所　いわき市小浜町台九三　大谷牧場
- ●経費　一人五〇〇円（旅費は各自負担）
- ●申込み　村農業委員会に一一月一九日まで

公民館だより

楽しく意義深かった〝青春のつどい〟

ふるさと鮫川村の後継者育成と、日ごろ出会う機会の少ない村内の若人が、つどいを通じてお互いの立場を理解し、友情と連帯を深める「青春のつどい」が、去る一〇月一四日那須ハイランドパークを中心に開催されました。

参加者二七名（男一三名、女一四名）は、午前八時三〇分貸切バスで山村開発センターを出発し、途中名勝地である西郷村の雪割橋と那須町の殺生石を見学して、午前一一時三〇分に昼食会場のレストランに到着しました。

昼食会には、石田村長も出席して若い後継者に激励のあいさつがおくられました。

また、参加者の自己紹介などでお互いの認識を深め、なごやかに昼食会を楽しみました。

午後一時から午後三時三〇分までは、那須ハイランドパークいちだんとひびいていました。

その一方で、米の粉を受講生自らが湯でねり、まるめ、茹あげ、たくさんの団子をつくりあげました。

自分でつくった団子を自分で挽いたきな粉で食べ、須藤さんのお話を聞きながら、わたしたちの祖先の食生活への、さまざまな工夫のさまに、思いをはせるひとときでした。

【ゲートボールをしよう】

○会場　村ゲートボール場

コーチをお願いした須藤栄恭さん、矢吹喜一さん、斎藤定満さんの指導で、ひととおりルールの勉強をした後、五、六人のチームにわかれて試合を行いました。三コートで一〇試合。午後三時すぎ、やや肌寒い中で、「もう終るの」「またいつかやろうよ」などの声の聞かれるうちに、ゲーム終了。コーチの講評をいただいて帰路につきました。



▶なごやかな雰囲気の昼食会

【石うすをまわして】

○会場　山村開発センター

講師の須藤栄恭（西野長寿会会長）さんの指導で、大豆をフライパンで炒り、石うすがまわりだすころには炒豆のにおいに酔っていました。

「あっ!!　きな粉だ」「なんだ、きな粉ができるのか」これまで見たこともない石うすをまわした子ども達の驚きの声が、



▶自分たちで作った団子をきな粉で食べる児童たち

アッ!!きな粉だ

少年ふるさと教室

少年ふるさと教室の第五回講座は、午前の部「石うすをまわして」、午後の部「ゲートボールをしよう」をテーマに、一〇月七日約三〇名が参加して行われました。

成人式の参加申込み

一二月一五日まで

第三七回鮫川村成人式は、昭和六〇年一月一五日に挙行します。

ついては、村外居住者で式に参加を希望される方は、次によりお申込みください。

なお、村内に居住されている方は申込みの必要はありません。

四、申込み事項　①氏名　②生年月日　③父（母）名　④続柄　⑤父（母）住所　⑥成人者現住所

五、申込み方法　文書による。

一、対象者　昭和三九年四月二日から昭和四〇年四月一日までに生まれた者

二、申込み期限　昭和五九年一二月一五日

三、申込み先　鮫川村山村開発センター

＝感想文募集＝

村では、成人される皆さんの感想文を募集します。市販の四〇〇字詰原稿用紙二枚程度に成人の感想を記載して、一二月一五日までに鮫川村山村開発センターまでお寄せください。

健康の村づくり
秋の球技大会開く

村民健康づくり大会のあとを受けて村の体育協会が主催する秋季球技大会が、体育の日の一〇月一〇日に盛大に挙行されました。

先づ農業者トレーニングセンターで開会式を行い、壮年ソフトボールは村民運動場と渡瀬区運動広場で、OBソフトは鮫川中学校校庭で、青年ソフトは西野区運動広場と西山林研広場で家庭バレーボールはトレーニングセンターで、それぞれ日頃鍛えた技と力を発揮し合いました。

熱戦の結果は次のとおりでした。

◎OBソフトボール
優勝 西野チーム
準優勝 西山チーム
三位 中野チーム
三位 東石チーム

◎壮年ソフトボール
優勝 西山Bチーム
準優勝 東北チーム
三位 渡瀬Bチーム
三位 サンライズチーム

◎青年ソフトボール
優勝 西山三区チーム
準優勝 諏訪チーム
三位 熊野チーム
三位 西山二区チーム

◎家庭バレーボール Aブロック
優勝 渡瀬Dチーム
準優勝 中沢チーム
三位 中野Cチーム
三位 西野すみれチーム

◎家庭バレーボール Bブロック
優勝 渡瀬Aチーム
準優勝 中野Bチーム
三位 西野チーム
三位 渡瀬Bチーム


▲OBソフト優勝　西野チーム


▲家庭バレー優勝　渡瀬D、渡瀬Aチーム


▲壮年ソフト優勝　西山Bチーム


▲青年ソフト優勝　西山三区チーム

新郎新婦ご紹介

一〇月、一一月に山村開発センターで公民館方式の結婚式を挙げ、新しい人生をスタートされたカップルは次のとおりでした。おめでとうございます。

新郎 青戸 禎美（前沼 芳夫 長男）
新婦 角田ミエ子（石川町 友喜 長女）
媒妁人 関根昭二 様 幸子

新郎 白坂 政二（茅 利昭 二男）
新婦 秋山恵美子（棚倉町 直司 長女）
媒妁人 吉田昭寿 様 武代



社交ダンスクラブの活動
入場料益金で図書の寄贈

鮫川社交ダンスクラブ（会長 鈴木英光）主催による第二回チャリティーダンスパーティーは、去る一〇月一三日（土）午後六時三〇分から午後九時三〇分まで山村開発センターを会場に、県内の社交ダンス愛好者約一五〇名の参加を得て盛大に開催されました。

その時の入場料益金で図書（集英社発行のシルクロード全八巻定価四六、四〇〇円）を購入して、このたび歴史民俗資料館に寄贈されました。

厚くお礼申し上げます。

社交ダンスは、社交的な集会などのとき、音楽に合わせて楽しく美しく踊るダンスです。

鮫川社交ダンスクラブでは、毎週金曜日午後七時から午後一〇時まで山村開発センターで練習を行っています。現在新人会員の募集をしていますので、あなたもお誘い合せの上気軽に加入して、健康増進のためにも踊ってみませんか。

里親さんを募集

子供が好きな方、恵まれない子供を預かって養育する意志のある方、―里親になってみませんか。

離婚や未婚出産、保護者の家出などにより、親の養育を受けられず、施設や里親のもとで養育される児童は、県内で毎年あらたに一〇〇名ほど発生しているということです。

里親になるには、申込書を出して県知事の里親登録証の交付を受けます。里子は児童相談所をとおして里親に委託され、里子の養育にかかる費用は、県社会福祉事務所から送金されます。

また、児童福祉司が日常の養育相談にあたるほか、里親賠償責任保険に里親会が団体加入しており、安心して養育できるようになっています。

○里親の申込窓口○
住民課福祉係で常時受付けています。

おめでた

十月

岡田　舟木かずえ　父舟木良一
二本田　酒井　恵美　父酒井國安
戸草　三瓶つかさ　父三瓶　稔
蕨草　円谷　裕　父円谷義一

おくやみ

十月　年齢　世帯主
取上　湯座吉夫56歳　湯座一男
前沼　青戸シヅヨ77歳　青戸彦磨

心配ごと相談

11月20日（火）
午前10時～午後2時
山村開発センター

交通死亡事故多発
非常事態宣言発令中
シートベルトをしめよう

NHKテレビ

西古殿放送局の電波が変わります
―12月5日から―

NHK西古殿テレビ放送局の電波が一二月五日から変わり、共同アンテナ以外で受信している方は新しいチャンネルで受信するようになります。

新しいチャンネルは
■NHK総合テレビ　51チャンネル
■NHK教育テレビ　49チャンネル
になります。

鮫川村で該当する地域は、おおむね鬼越、馬場、辺栗、摺合、戸倉、発地岡地域で、共同アンテナ以外で受信している方です。

受信方法は、UHF用のアンテナを鎌田方向にあるテレビ塔に向けてください。NHKの放送が美しくうつります。

なお、一部地域では地形により良好に受信できない場合もありますので、受信相談所を開設し、無料でアンテナ点検とテレビ診断を行います。

詳しくは、後日チラシを配布しますので、気軽にお申し込みください。

（NHK郡山放送局）

遺族援護と恩給業務の巡回相談会

遺族援護と恩給についての巡回相談会が開かれるので、お知らせします。

◇日時及び場所◇
11月28日　午前9時30分～午後3時　棚倉町役場

詳しくは、役場住民課にお問い合わせください。

社会福祉事業に寄附

村の社会福祉事業に役立ててくださいと、次の方々から厚意の寄附がありました。厚くお礼申し上げます。

●大字赤坂中野字新宿　金沢キクエ様
福祉ヤクルト販売代金　五千円

●大字富田字前沼　青戸彦磨様
亡母の遺志により　三万円

●大字石井草字関ノ上　中川西　久様
亡母の遺志により　一万円

（鮫川村社会福祉協議会）

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
11月18日(日)	菅原	厚生病院	
23日(金)	薄葉木所	慈泉堂	
25日(日)	大診療	石川	木村
12月2日(日)	和田部	中車	島田
9日(日)	阿		
16日(日)			

ゴミの収集日

収集コース	種別	11月	12月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	15.19.22 26.29	3.6.10.13.17 20.24.27
	不燃物	—	7.21
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	15.20.22 27.29	4.6.11.13.18 20.25.27
	不燃物	—	7.21
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	22	6.20
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	21	5.19
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	14
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	—	7.21

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

今月の納税　固定資産税(4)　国民健康保険税(5)　納期限11月26日(月)